

●北見市の年表

年代	西暦	できごと
寛政 12年	1800	伊能忠敬が蝦夷地を測量する。
文化 5年	1808	柏谷喜兵衛(のち藤原姓)ほか2名が漁場請負人として常呂町沿岸に入植する。
安政 元年	1854	ペリーが函館にくる。
3年	1856	松浦武四郎が常呂川を上り北見にくる。
明治 2年	1869	蝦夷地という呼び名を北海道と改め、北見国常呂郡と呼ぶようになった。 北海道に開拓史を置く。
4年	1871	開拓庁を函館から札幌に移す。
8年	1875	屯田兵が初めて琴似に入る。
9年	1876	札幌農学校(現北海道大学)ができる。
13年	1880	和人が初めて常呂に住み着く。(1戸、男2人・女1人)
15年	1882	開拓史を止めて三県を置き、北見国は根室県に入る。
16年	1883	常呂に常呂外六ヶ村戸長役場が置かれた。
19年	1886	三県を止めて北海道庁を札幌に置く。
21年	1888	常呂に駅通が置かれた。
24年	1891	常呂に郵便局ができる。 中央道路(網走～北見～旭川)の開削着工。
25年	1892	中央道路沿い越歳・端野・相内・留辺蘂・上佐呂間・野上・下白滝・白滝に駅通開設。
26年	1893	常呂神社は建立される。
27年	1894	日清戦争勃発。
28年	1895	常呂教育所(現常呂小学校)が置かれた。 常呂に土佐団体20戸が入地する。 網走警察常呂分署が置かれる。 常呂鑛沸(とうふつ)現錦水地区にマッチ製軸工場ができる。
29年	1896	土佐より坂本直寛ら、クンネップ原野調査し、北光社設立。
30年	1897	5月7日、北見に北光社(土佐)移民団112戸が入地する。 6月10日、屯田兵が端野・野付牛・相内・湧別に入地する。 郡役場を止めて網走支庁ができる。 常呂村戸長役場から野付牛・生顔常両村を分離し野付牛他1ヶ村戸長役場を設ける。 相内郵便局(その後野付牛郵便局)が開かれる。
31年	1898	野付牛中央小学校(現西小学校)は開かれる。 常呂川が氾濫し、北光社・三区屯田用地に被害がでる。 相内小学校ができる。
32年	1899	北光社で、初めてハッカをつくる。 国沢喜衛門が、武華(温根湯)で牧場と温泉を開く。
33年	1900	訓子府小学校(現上常呂小学校)ができる。 大江本家の前身である、温泉旅館ができる。